HPE ProLiant Compute

ソリューション概要

HPE PROLIANT COMPUTE

Gen12は、次世代のパフォーマンス、効率、
セキュリティをもたらします。

HPE

HPE ProLiant Computeは、IT運用に新たなレベルのパフォーマンス、効率、セキュリティをもたらします。AIアプリケーションの導入と仮想化戦略の見直しを迫られる中で、IT部門は生産性とパフォーマンスを最大化するための高度な機能を必要としています。Gen12システムが新たに加わることで、HPEは、電力効率を高めて運用を合理化しながら、次世代のワークロードにセキュアな基盤を提供する、ハードウェアおよびソフトウェアのソリューションの包括的な最新のポートフォリオを確立します。

ワンランク上のセキュリティ

お客様の課題

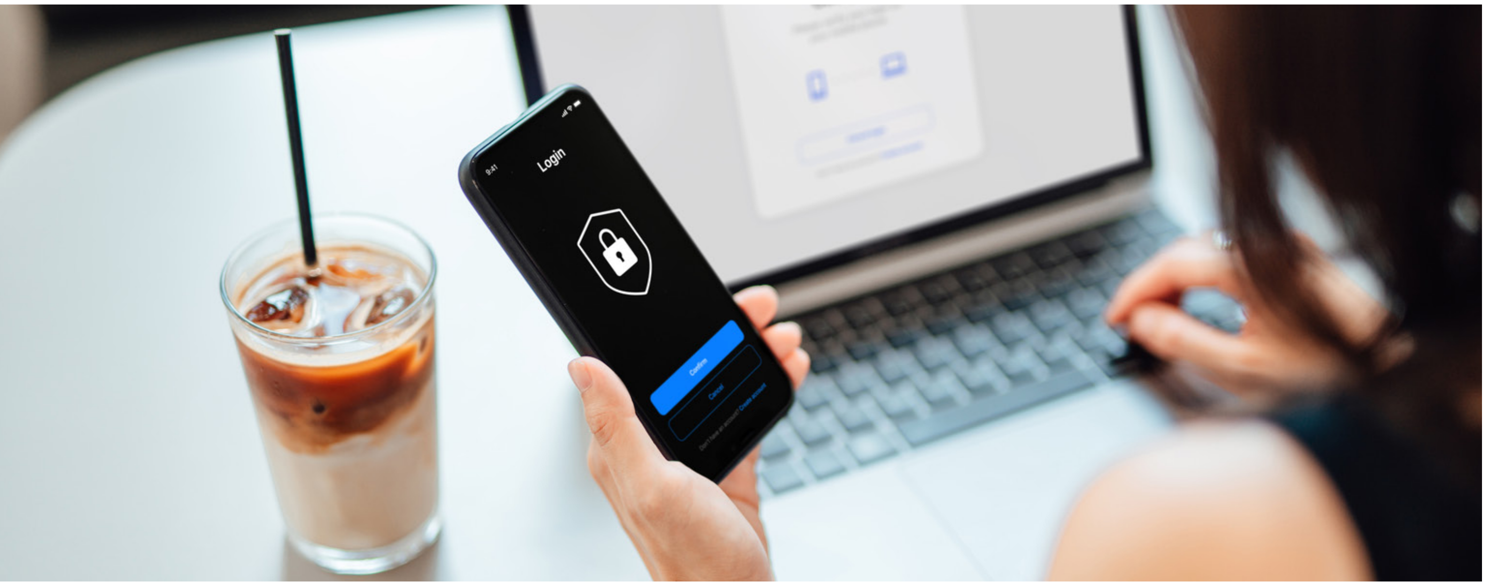
企業は、業務、コスト、パフォーマンス、評判に深刻な影響を及ぼす可能性があるデータ侵害の脅威に絶えず直面しています。

HPEのソリューション

マルチレイヤーのセキュリティで攻撃から保護

HPE iLOのマルチレイヤーSilicon Root of Trustは、製造からサポート終了までサーバーを保護し、将来の量子コンピューティングによる攻撃へのコンプライアンス対応を提供します。

図1. HPE iLO 7



新たなセキュリティイノベーション

改ざんを防止するSecure Enclave機能による多層保護を備え、HPE iLO 7内に新しいハードウェアベースのボールトを追加して、サーバー暗号化キーをよりセキュアに保管します。

FIPS 140-3レベル3の要件を満たす初の業界標準サーバーであり、物理的およびデジタル侵入耐性を強化するSecure Enclave機能を備えたHPE iLO 7を通じて認証取得を目指します[1]。

NISTおよびCNSA 2.0の耐量子暗号要件を満たす業界初のサーバーであり、HPE iLO 7のSilicon Root of Trustには、将来の量子コンピューティングによる攻撃に対するセキュアなファームウェア署名が組み込まれています[2]。

信頼できるサプライチェーンをラックレベルおよびサーバーレベルで利用可能であり、展開を迅速化し、脆弱性を軽減するとともに、HPEのセキュアなサプライチェーン施設での輸送中にラックレベルの完全性を確保します。

パフォーマンスと効率の向上による最適化

お客様の課題

既存の仮想化、レガシーインフラストラクチャ、高騰するエネルギーコストといった非効率性に対処しながら、AIやエッジなどの新しいユースケースとワークロードを可能にする必要があります。

HPEのソリューション

Gen10システムと比較して、ワットあたりのパフォーマンスが最大41%向上

AIおよびエッジでの新しいワークロードに必要な高いパフォーマンスを実現し、VDIの効率を高めながら、スペースとエネルギーを節減します。

図2. HPE ProLiant DL380a Gen12サーバー

[1,2] As at January 27, 2025.

新たなパフォーマンスと効率のイノベーション

統合および節減により、Gen10と比較して最大7:1の統合と最大65%の電力節約を実現。データセンターの容量を解放し、エネルギー消費量を削減[3]

AIに最適化されたサーバープラットフォームである、HPE ProLiant Compute DL380a Gen12 (NVIDIA® H200 NVLを搭載) および市場初のHPE ProLiant Compute DL384 Gen12 (NVIDIA GH200 NVL2、144GBを搭載)

直接液体冷却 (DLC) が、インテルベースの1ソケットおよび2ソケットのすべてのGen12ラックマウント型サーバーで利用可能になり、最高レベルのパフォーマンスのワークロードのニーズにも対応できる優れた冷却効率を実現

自動化されたオンデマンドのカーボンフットプリントレポートをHPEが提供し、HPE Power Advisorにより、注文前にHPE製品の予測カーボンフットプリント、およびHPE Compute Ops Management内での持続可能性に関する継続的なインサイトを獲得

HPE ProLiant Computeポートフォリオは、VDIからAIまでのワークロードを強化するカスタマイズされたソリューションによって、パフォーマンス、効率、コストの面で最適化されています。データセンターとAI専用のコンピュートに対する電力需要がますます高まる中、優れた冷却イノベーションにより、パフォーマンスや生産性を犠牲にすることなくエネルギー効率が向上します。事前注文から導入まで、組織が十分な情報に基づいた選択を行えるように、組織の持続可能性の取り組みをサポートするオンデマンドのカーボンフットプリントレポートを提供しているのはHPEだけです。

自動化、AI主導の生産性

お客様の課題

サーバー運用は非効率で、時間もコストもかかり、可視性とインサイトが欠如しています。

HPEのソリューション

新しいAI主導のインサイトにより、ITの生産性が向上

エネルギーコストの予測からグローバルなサーバーフットプリントの管理にいたるまで、オペレーターがより迅速に対応し、より適切に制御できるようになります。

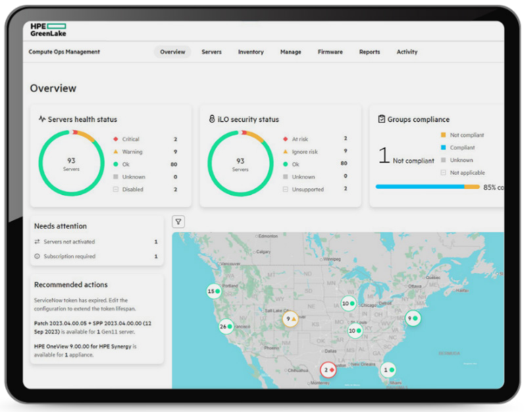


図3. HPE Compute Ops Managementダッシュボード

[3] SPEC and the names SPECrate are registered trademarks of the Standard Performance Evaluation Corporation (SPEC). The stated results (SPECrate2017_int_base: #36693 [1], #36691 [2], #20893 [3], #37007 [4]) are published as of 01-01-2025, see spec.org, and compared against a 48-core estimated Gen12 system. All rights reserved. Power savings based on the Thermal Design Power of the systems.

新たな自動化、AI主導の生産性のイノベーション

AIによる予測的なインサイトにより、将来のエネルギーコストと二酸化炭素排出量を自信を持って予測

しきい値ベースのアラートにより、エネルギーと二酸化炭素の排出量が上限に達したときにタイムリーなアラートで情報を入手

マップベースの視認性の向上により、一元化されたグローバルマップビューと色分けされた稼働状態レベルで、サーバー管理を簡素化

マルチベンダー管理により、サードパーティのツールセットと統合して、多様なIT環境の運用の簡素化および一元化が可能

新しいHPE iLO 7による単一サーバー管理の高速化により、以前のHPE iLOと比較してOSの起動時間が最大30%短縮、動作が3倍高速化

AI主導のインサイトを利用した単一の管理ソリューションを活用し、データセンターからエッジまでプロアクティブかつ予測的な自動化によって、スムーズなエンタープライズ運用を実現できます。エネルギーコストの予測からグローバルなサーバーフットプリントの管理にいたるまで、オペレーターがより迅速に対応し、より適切に制御できるようになります。ダッシュボード、インテリジェントなアラートに加え、すべてのサーバーのステータスとアクティビティを表示するグローバルマップビューにより、問題領域を迅速に特定することで、ITスタッフの生産性が向上します。

HPE ProLiant Compute Gen12 – ハイブリッド環境向けの設計

HPE ProLiant Compute Gen12は単なるサーバーの域を超え、企業を未来へと推進できるように設計された包括的なソリューションです。比類のないセキュリティ、最適化されたパフォーマンス、AI主導の生産性により、組織は今日の課題にも明日の課題にも対処できるようになります。

どんな企業にとっても、HPE ProLiant Computeに投資することは、ITサステナビリティをサポートしながら、データを保護し、運用のパフォーマンスと生産性を最適化することになります。これは、企業が測定可能なビジネス成果を達成しながら、テクノロジーの進歩の最前線に立ち続けるための戦略的な動きです。

詳細はこちら

HPE.com/jp/ja/hpe-proliant-servers

HPE.com にアクセス

今すぐチャット

a00144756JPN、Rev. 1

HEWLETT PACKARD ENTERPRISE

hpe.com